

令和7年

療育相談員だより

11月



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

日ごとに冷え込みが増し、秋の深まりを感じる頃となりました。昼夜の温度差が激しい季節でもありますので、皆様も体調には気をつけてお過ごしください。

今月の療育相談員だよりでは「あまくさ福祉まつり」「かわり方のポイント～ほめる～」について情報提供させていただきます。

○親の集い

- ・子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など情報交換の場です。
- ・相談には、ペアレント・メンターさんや療育相談員が個別の対応も行っています。

今月の『親の集い』は・・・

○日 時：令和7年11月13日(木) 10:00～11:30

○場 所：天草圏域児童発達支援センターすくすく園 会議室

(天草市社会福祉協議会本渡支所内)



あまくさ福祉まつり

発達障がい理解に向けて～疑似体験～

10月26日(日)、あまくさ福祉まつりが開催されました。『発達障がい理解に向けて～疑似体験』のブースでは、見え方の違い、手指を使う困難さなど5つのコーナーでの疑似体験と、支援グッズ・書籍の展示を実施しました。関係者やご家族、一般の方など多くの方にご来場いただきました。

皆様から頂いた感想の一部をご紹介します。

初めてこういう体験をして、普段何気なくやっていることがとても特別だということが分かりました。10代

一つの工夫で全然違うなと思いました。20代

体験することで困難さが実感できました。「できない」ことに何か理由があるのかも？と相手のことについてまず考えてみなくてはと思いました。40代

疑似体験する機会がなかなかないので、体験できて困り感を理解することができました。過ごしやすくなる環境にしておくことが大事だと思います。40代

本人さんの作業するときの大変さがよくわかりました。50代

机上での発達障がいについての研修は受けていますが、実際に体験してみると、子ども達の困難さと大変さを少しの時間で理解できました。60代

言葉で伝えることの難しさが分かりやすかった。図で伝えることの大切さが改めて分かりました。30代

普段のつい「早くしなさい」「出来るでしょう」と何気ない一言が子どもにとってはストレス、イライラにつながっていたのだと、初めて体験して知ることができました。40代





かかわり方のポイント ～ほめる～

今回は、『ほめるコツ』について紹介します。皆さんは普段、どんなタイミングでお子さんに声をかけていますか？ お子さんをほめていく為のポイントをお伝えします。

●ほめるために、お子さんの『行動を見る』ことが、ポイントになります。



行動

椅子に座っている

スプーンを使ってごはんを食べる

大きい声を出す

※例えば、「元気が良い」「明るい」など
⇒実際どういう姿を見てそう思いますか？

あくまでも、行動を見ていきます

☆行動で見えていくと、お子さんのできること、難しいことが具体的にわかり、ほめるポイントがわかりやすくなります。

●お子さんの行動をほめましょう ～25%ルール～

○25%ルールとは…

100%できたらほめる、ではなく、25%できたらほめるというルールがあります。
ほんの少しでもできたらほめるという方法です。

★『パジャマに一人で着替える』で考えてみると…

全部着替え終わってからほめる

100%着替え終わるまで、待ってからほめようとすると、途中で遊んだり、うまくできなくて、結局ほめられなくなってしまいます。

25%ルールだったら

(例)



大人に言われてからパジャマを取りに行く⇒取りに行ったらほめる。



ズボンを脱いだらほめる



ボタンをかけたらほめる。



パジャマを着たらほめる

●さらに細かくほめると…

- ・パジャマを持った時点でほめる。
- ・上着の片手を入れようとしたらほめる。
- ・ボタンをかけようとしたらほめる。
- ・ズボンの後ろ前を確認していたらほめる。

等



少しでもできているところに目を向けてほめていきましょう

*大人が意識して好ましい行動に注目し、ほめることで、子どもの好ましい行動は増えていきます。

*25%ルールでほめるようにすると、集中が続きにくいお子さんや失敗しやすいお子さんもほめられる機会が増えます。